

千葉大学大学院情報・データサイエンス学府 学位授与の方針

(博士後期課程)

博士課程（後期3年博士課程）では、修士課程・博士前期課程までで築いた知的基盤の上に、以下の知識・能力を修得する。

「自由・自立の精神」

- 産業界や行政など多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す人材として、情報・データサイエンス分野において、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行うことができる。また、専門分野における研究倫理を身に付けて、主体的に行動できる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- 地球規模の視点を持ち、社会と連携して、自ら課題を設定し、自立的な研究開発を行い、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、多様な文化・歴史に対する理解を有し、産業界、教育・研究機関等において、指導的人材として、持続可能でインクルーシブな社会の実現のために活動することができる。
- 自己の国際経験を生かし、先導的に科学・技術の発展に寄与することができる。

「専門的な知識・技術・技能」

- 情報・データサイエンス分野における創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献でき、イノベーションの創出を目指すことができる。また、幅広い専門的知識や研究遂行能力を生かして、高度な研究開発プロジェクトの企画・管理等を行うことができる。

「高い問題解決能力」

- 情報・データサイエンス分野の情報・知識を他者と共有しながら指導的に協調・協働し、知識集約型社会を支える新たな知見や価値を創出することができる。